

コンセプトノート

サイドイベント：レジリエントな都市のための水分野の能力強化

開催地：日本・豊田市

日時：2025 年 10 月 15 日（水）17:15～18:45

背景および目的

国連水関連機関（UN-Water）の SDG6 能力強化イニシアティブ（CDI）は、国連経済社会局（UN DESA）とユネスコ（UNESCO）が共同で調整し、IHE デルフト、Cap-Net、その他 41 の UN-Water 加盟機関やパートナーの技術支援を受けて展開されています。本イニシアティブは、各国政府からの正式な要請に応じて、SDG6 の進展を加速するための制度的・人的能力の強化を支援するものです。

これまでに、コスタリカ、ガンビア、キューバ、パナマ、ヨルダン、マダガスカルの 6 カ国が CDI プロセスを開始し、コスタリカ（2024 年 12 月）およびガンビア（2025 年 8 月）では、ギャップ分析、計画の調整、持続可能な能力強化戦略に焦点を当てたハイレベル・マルチステークホルダー・ワークショップが成功裏に開催されました。

CDI はインフラ事業への直接的な資金提供スキームではありませんが、包摂的な計画策定、省庁間の連携、ドナー機関とのパートナーシップ等を通じて、実施環境の整備を支援します。特に都市部においては、気候リスクへの対応、都市化の管理、インフラの近代化において SDG6 の達成に向けた役割が極めて重要です。

本サイドイベントは、CDI の国レベルでの経験を都市レベルの行動へとつなげることを目的としており、CDI がいかに需要主導型で能力開発を優先するモデルを通じて、地方自治体によるレジリエントかつ包摂的な水・衛生サービスの提供を支援し得るかを示すものです。

セッション概要

日付・時間：2025 年 10 月 15 日（水）17:15～18:45

会場：日本・愛知県豊田市

主催：国連経済社会局（UN DESA）

共催（予定）：UN-Water、UNCRD、国土交通省、UN-Habitat

使用言語：英語

アジェンダ（予定）

1. 開会セグメント（10 分）

- 挨拶：UN DESA 代表
- 挨拶：豊田市代表

2. CDI 紹介（10 分）

- 発表：UN DESA
- CDI の目的、構造、パイロット国（コスタリカ、ガンビア）での経験を紹介

3. 関係機関によるライトニング・プレゼン（3 機関×7 分＝21 分）

- 国土交通省：水分野における国土交通省の国際技術協力・人材育成
- UN-Habitat：レジリエントで包摂的な WASH ガバナンス
- UNCRD：地域研修と統合的都市計画支援

4. 都市の技術革新事例－豊田市（10 分）

- ALOS-2 衛星データを活用した水道漏水検知とスマート水管理の紹介

5. 自治体コメント（5 分）

- 参加市長による SDG6 関連課題に関する所感

6. モデレータ対話（30 分）

- モデレーター：富澤洋介（UN DESA）
- 各登壇者への事前質問による対話形式
- 時間に応じて会場からの発言も受け付け予定

7. 閉会セグメント（4 分）

- モデレーターによるまとめと CDI への今後の参加呼びかけ
- 集合写真とネットワーキング